



2010年1月15日
 株式会社GTアソシエーション
 株式会社日本レースプロモーション
 富士スピードウェイ株式会社

“SUPER GT & Formula NIPPON FUJI SPRINT CUP 2010”の大会概要を発表

株式会社GTアソシエーション（GTA）、株式会社日本レースプロモーション（JRP）、富士スピードウェイ株式会社（FSW）の3社は、本年11月13日（土）・14日（日）、富士スピードウェイで共同開催する“SUPER GT & Formula NIPPON FUJI SPRINT CUP 2010”の大会概要について発表しました。

日本モータースポーツの更なる活性化を目的に、新たなレース形態の提案とモータースポーツファンへの感謝の意を込めて、**SUPER GT**（グランドツーリングカーレースの国内トップカテゴリー）と**Formula NIPPON**（フォーミュラカーレースの国内トップカテゴリー）を同日開催する、モータースポーツ史上初のレースイベントです。

SUPER GTの**GT500クラス**、**GT300クラス**及び**Formula NIPPON**の3カテゴリーが、それぞれ**100km（22周）の決勝レース**を13日（土）と14日（日）に実施する予定です。

今後、お客様にご満足いただける大会とするために、メインレースに加えて、サポートレースや場内イベントなどについても3社で検討を進め、随時発表いたします。

<各社代表コメント>

GTA 代表取締役 坂東正明	GTアソシエーションは、日本レースプロモーションと富士スピードウェイとともに、モータースポーツファンの皆様への感謝を込めて、新たなレースイベントを提案します。日本を代表する2つのシリーズが、富士スピードウェイを舞台に、不景気を吹き飛ばすような感動と興奮を提供できる、過去に例を見ない新たなレースイベントとして開催することで、日本モータースポーツ界の活性化を目指します。
JRP 取締役会長 中嶋悟	日本レースプロモーションは、本年フォーミュラ・ニッポン創設15年目を迎えます。この記念すべき年にGTアソシエーション、富士スピードウェイとともに、モータースポーツファンの皆様にすばらしいニュースをお伝えできることを大変うれしく思っております。私ども三団体は、本大会を、『モータースポーツを更に元気にするための第1歩』と位置づけ、シリーズ戦にない新たな醍醐味を提供してまいります。
FSW 代表取締役社長 加藤裕明	富士スピードウェイは1963年の会社創立以来、数々のモータースポーツの舞台となっておりますが、2005年春にリニューアルオープンしてから、おかげさまで今年は5周年を迎えることができました。こうした節目の年に、日本を代表する2つのトップカテゴリーレースを同日に開催できますことを大変嬉しく思います。お客様に心からご満足いただけますよう、大会に向けて努力してまいります。

<大会概要>

大会名称	SUPER GT & Formula NIPPON FUJI SPRINT CUP 2010
開催日程	2010年11月13日（土）、14日（日）
開催場所	富士スピードウェイ（静岡県駿東郡小山町中日向 694）
主催	株式会社GTアソシエーション（GTA）、株式会社日本レースプロモーション（JRP）、富士スピードウェイ株式会社
公認	国際自動車連盟（FIA）、日本自動車連盟（JAF）
企画運営	FUJI SPRINT CUP 実行委員会
決勝レース	GT500 クラス、GT300 クラス、Formula NIPPONの3カテゴリーが、各々100km（22周）を13日（土）と14日（日）に実施予定

1. SUPER GTについて

1994年に全日本GT選手権としてスタートし、2005年からはSUPER GTへと名称を変更、インターナショナルシリーズへと生まれ変わりました。現在では、毎年45万人以上の国内最大の観客動員数を誇る、人気の高いレースシリーズです。

レースは、市販車をベースにしたマシンを使用し、参戦車両は合計19車種42台（昨年実績）。今年は8戦が開催され、シリーズを通して年間チャンピオンを競います。日本を代表するトップメーカーLEXUS、HONDA、NISSANが威信をかけて送り込んだモンスターマシンが競うGT500クラスと、ポルシェ、フェラーリ、ランボルギーニ、BMW等の海外GTとそれを迎え撃つ日本勢が激闘を展開するGT300クラス。このGT500とGT300の馬力の異なる2つのクラスが混走してレースを行うため、常に白熱したバトルが展開されます。

拮抗したバトルを演出するウェイトハンディ制やそれを克服するチーム戦略、路面状況に合わせたタイヤ選択、燃料補給やタイヤ交換のピット作業、過酷なレースを支える卓越したメカニックの技術、レース中のドライバー交替等、勝利の栄冠を手にするには、チームの総合力が要求されます。

レース以外にも、レース車両を間近に見学できる公開車検やドライバーと触れ合うことができるピットウォーク、スタート前のグリッドウォーク等のイベントも充実しています。



2. Formula NIPPONについて

日本ではかつて、F1の直下カテゴリーとして、F2やF3000のレースが行なわれてきましたが、1996年に日本独自のカテゴリーとしてFormula NIPPON（以下FN）が生まれました。

FNはその後、何度かの車両規格変更を経て発展し、2009年時点では、ホンダとトヨタより最大出力600馬力超、3.4L、V型8気筒エンジンを、ブリヂストンよりワンメイクでのタイヤ供給を受け、シリーズを開催しています。また、2009年より新型シャシー（FN09）を導入し、一時的にエンジン出力をあげるオーバーテイクシステムを搭載。2010年においても新システムの導入を検討中です。

速く走るためだけに開発されたフォーミュラカーから十分な性能を引き出し、操ったうえでライバルよりも速く走るためには、研ぎ澄まされたドライビングテクニックが求められます。レーシングカーが主役となって機械の性能や耐久性を競うレースがスポーツカーレースであるのに対し、フォーミュラカーレースで競われるのは、それを操るドライバーのドライビングテクニックです。フォーミュラカーレースで勝つのはマシンではなく、そのマシンを操ったドライバーなのです。FNでは人間の能力を競争させるため、その道具となるマシンの性能を高いレベルを維持したうえで個体差が生じないように、車両に対しては細部にわたって独自の改造を禁じています。

FNは日本全国のサーキットを転戦するシリーズ戦であり、日本を代表するベテラン選手はもちろん、国内外で腕を磨いた若手選手や、海外の有力選手たちが参戦します。過去にはF1へ参戦したラルフ・シューマッハーや高木虎之介などの選手を輩出しました。海外から参戦する外国人選手たちは、FNを「マシン性能差がなく、ドライビングテクニックだけを競い、評価が得られる点が魅力」と評します。これだけの高性能マシンがイコールドライビングで揃い、ドライバーがテクニックを競いあえるという点で、FNは世界に誇るフォーミュラカーレースなのです。



<参考>2010年 各シリーズ戦 開催スケジュール

	SUPER GT		Formula NIPPON	
	日程	場所	日程	場所
第1戦	3/20-21	鈴鹿サーキット	4/17-18	鈴鹿サーキット
第2戦	4/3-4	岡山国際サーキット	5/22-23	ツインリンクもてぎ
第3戦	5/1-2	富士スピードウェイ	7/17-18	富士スピードウェイ
第4戦	6/19-20	セパン(マレーシア)	8/7-8	ツインリンクもてぎ
第5戦	7/24-25	スポーツランド SUGO	9/25-26	スポーツランド SUGO
第6戦	8/21-22	鈴鹿サーキット	10/16-17	オートポリス
第7戦	9/11-12	富士スピードウェイ	11/6-7	鈴鹿サーキット
第8戦	10/23-24	ツインリンクもてぎ	—	—

SUPER GT & Formula NIPPON FUJI SPRINT CUP 2010	11/13-14	富士スピードウェイ
---	----------	-----------

以上

【本プレスリリースに関するお問い合わせ】

株式会社GTアソシエーション	黒田	TEL:03-6426-2501	公式サイト	http://www.supergt.net
株式会社日本レースプロモーション	石原	TEL:03-3237-0131	公式サイト	http://www.f-nippon.co.jp
富士スピードウェイ株式会社	徳山	TEL:03-3556-8511	公式サイト	http://www.fsw.tv